

国土交通省認定

ネダノン QF45 仕様書

【 は り 用 】

(認定番号 QF045BM-0001)

索 引

1. 構造名	1
2. 寸 法	1
3. 材料構成等	1
4. 構造説明図	3
(1) 透視図	3
(2) 断面図	4
(3) 断面詳細図	5
(4) 外壁との納まり (代表例)	6
5. 施工方法	7

1. 構造名

強化せっこうボード被覆／木製はり

2. 寸法

はりの断面は 105 mm × 150 mm の寸法以上とし、長さは構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする。

3. 材料構成等

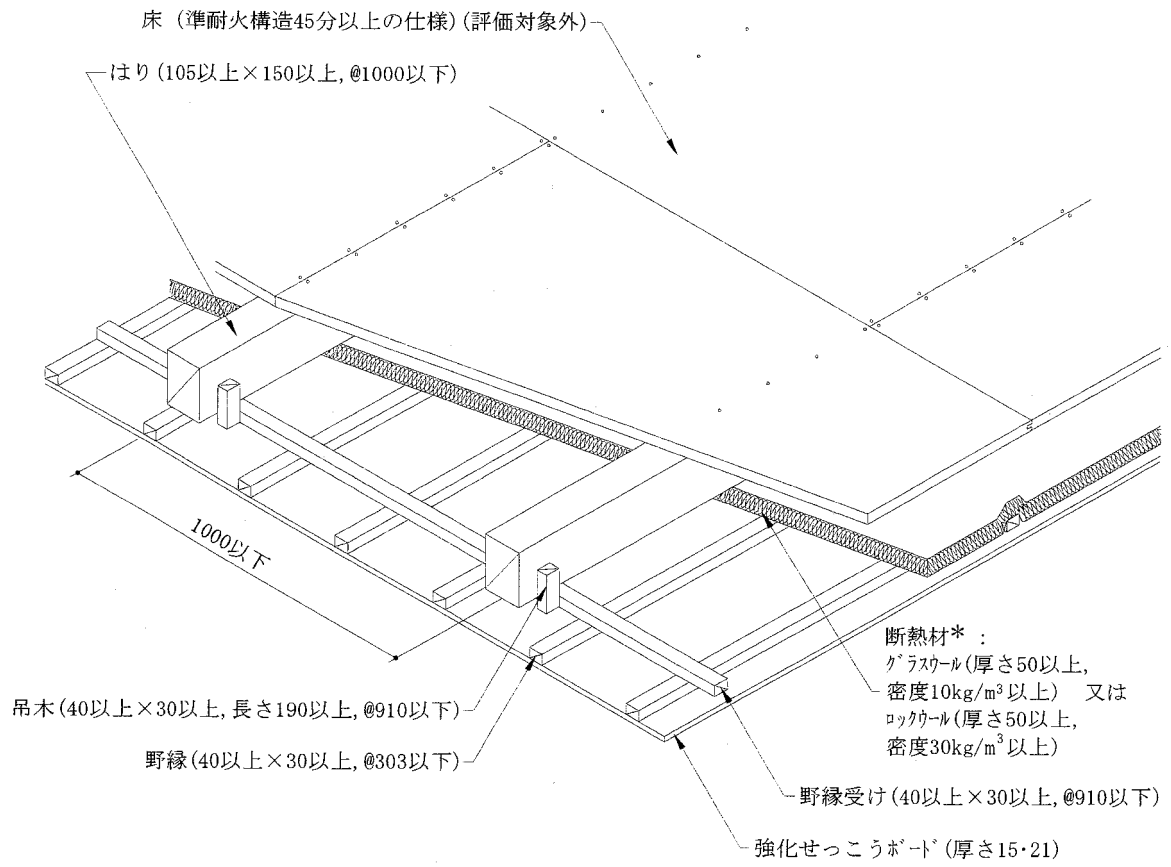
項目		製品仕様等
はり	構造用製材等	<p>規格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JAS に規定する針葉樹の構造用製材 ・ JAS に規定する構造用集成材 ・ JAS に規定する構造用単板積層材 ・ 平成 12 年建設省告示第 1452 号の第六に規定する無等級材又は第七に規定する木材 <p>断面寸法 (mm) : 105 以上×150 以上 かさ比重 : 0.38 以上 取付け間隔 (mm) : 1,000 以下</p>
天井被覆材	強化せっこうボード	<p>規格 : 不燃材料認定番号 NM-8615、JIS A 6901</p> <p>形状 : 平板 表面の形状 : 平滑 端部の形状 : スクエアー、ベベル 厚さ (mm) : 15・21±0.5 かさ比重 : 0.75 以上 大きさ (mm) : 最小 910×1,820、最大 1,210×2,730</p>
天井下地材	吊木、野縁受け及び野縁(構造用製材等)	<p>規格 : JAS に規定する針葉樹の構造用製材、造作用製材又は下地用製材</p> <p>断面寸法 (mm) : 40 以上×30 以上 かさ比重 : 0.38 以上 取付け間隔 (mm) 吊木及び野縁受け : 910 以下 野縁 : 303 以下 吊木の長さ (mm) : 190 以上</p>
断熱材(必要に応じて使用する。)	グラスウール等	<p>グラスウール</p> <p>規格 : 不燃材料認定番号 NM-8605、JIS A 6301、JIS A 9504、又は JIS A 9521</p> <p>厚さ (mm) : 50 以上 密度 (kg/m³) : 10 以上</p> <p>ロックウール</p> <p>規格 : 不燃材料認定番号 NM-8600、JIS A 6301、JIS A 9504 又は JIS A 9521</p> <p>厚さ (mm) : 50 以上 密度 (kg/m³) : 30 以上</p>

項目		製品仕様等
くぎ、タッピンねじ、目地処理材等	くぎ、タッピンねじ等	<p>天井被覆材取付け用</p> <p>種類及び寸法 (mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ せっこうボード用くぎ (φ 2.34 以上 × L38.1 以上) ・ タッピンねじ (φ 3.0 以上 × L40 以上) ・ 木ねじ (φ 3.0 以上 × L40 以上) <p>留め付け間隔 (mm)</p> <p>周辺部：150 以下、中間部：200 以下</p> <p>吊木取付け用</p> <p>種類及び寸法 (mm)</p> <p>鉄丸くぎ (φ 3.4 以上 × L75 以上)</p> <p>留め付け本数：2 本以上</p> <p>野縁受け取付け用</p> <p>種類及び寸法 (mm)</p> <p>鉄丸くぎ (φ 3.4 以上 × L75 以上)</p> <p>野縁取付け用</p> <p>種類及び寸法 (mm)</p> <p>鉄丸くぎ (φ 3.05 以上 × L65 以上)</p>
	天井被覆材の目地処理材	<p>種類及び塗布量</p> <p>せっこう系、炭酸カルシウム系等目地処理材 (100g/m 以上)</p>
天井裏面空間高さ		300 mm以上
施工方法	はりの取付け	はり (断面寸法 105 mm以上 × 150 mm以上) を 1,000 mm以下の間隔で配置し、大入れ蟻掛け、大入れ落とし込み、傾ぎ大入れ等の接合で桁に取付ける。
	天井下地材の取付け	吊木 (断面寸法 40 mm以上 × 30 mm以上) をはり間方向に 910 mm以下の間隔で配置し、φ 3.4 mm以上 × L75 mm以上の鉄丸くぎ (2 本以上) ではりに取付ける。野縁受け (断面寸法 40 mm以上 × 30 mm以上) をはりと直交する方向に 910 mm以下の間隔で配置し、φ 3.4 mm以上 × L75 mm以上の鉄丸くぎで吊木に取付ける。野縁 (断面寸法 40 mm以上 × 30 mm以上) を野縁受けと直行する方向に 303 mm以下の間隔で配置し、φ 3.05 mm以上 × L65 mm以上の鉄丸くぎで野縁受けに取付ける。
	グラスウール又はロックウール断熱材の敷き込み	必要に応じて、グラスウール又はロックウール断熱材を野縁受け及び野縁の上に隙間なく敷き込む。
	天井被覆材の取付け	天井被覆材の強化せっこうボードをφ 2.34 mm以上 × L38.1 mm以上のせっこうボード用くぎ等で野縁に取付ける。せっこうボード用くぎ等は、周辺部を 150 mm以下の間隔で、中間部を 200 mm以下の間隔で留め付ける。目地部は、せっこうボード用目地処理材 (100g/m 以上) にて平滑に仕上げる。

4. 構造説明図

(1) 透視図

(単位：mm)

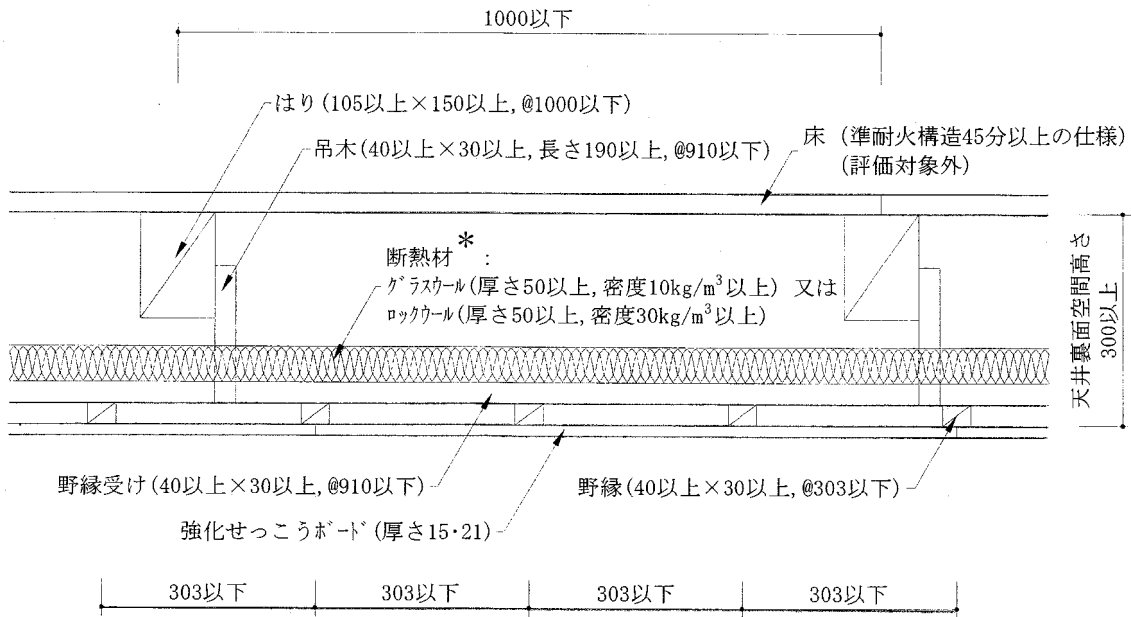


*は必要に応じて使用する。

(2) 断面図

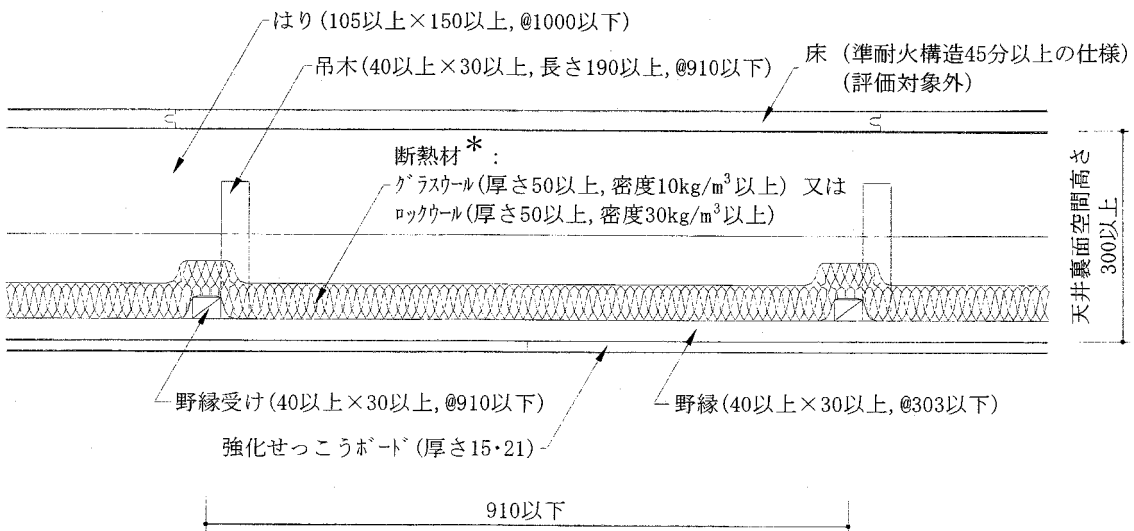
(単位：mm)

①はり直交方向



*は必要に応じて使用する。

②はり並行方向

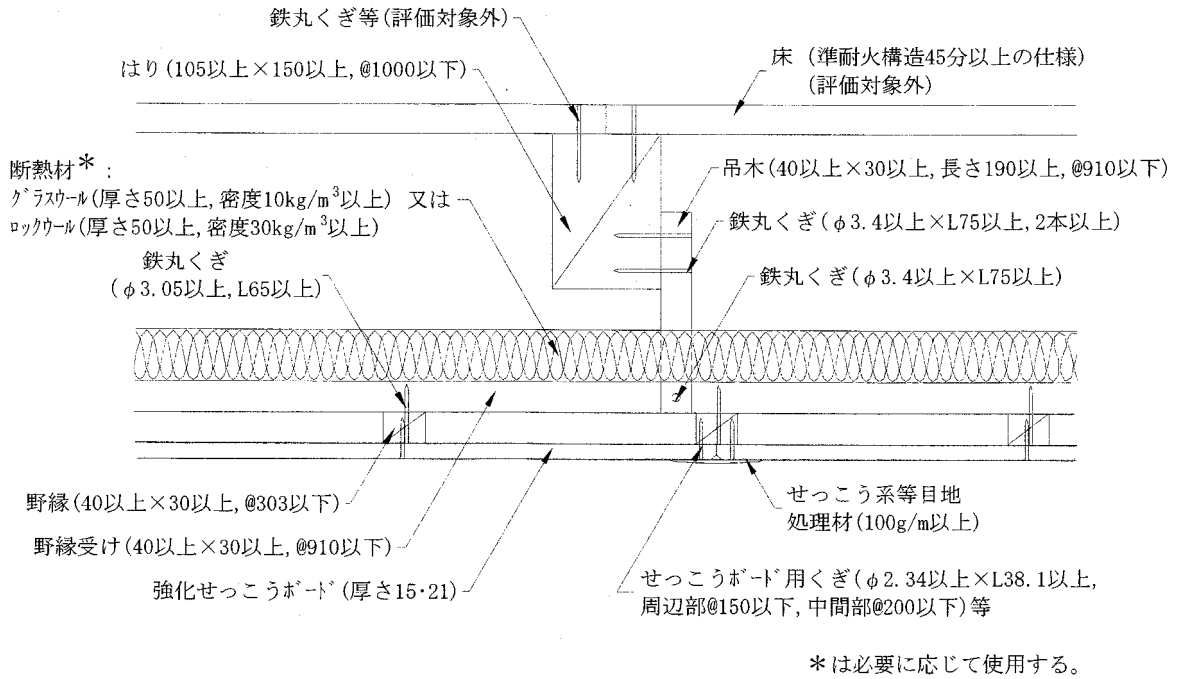


*は必要に応じて使用する。

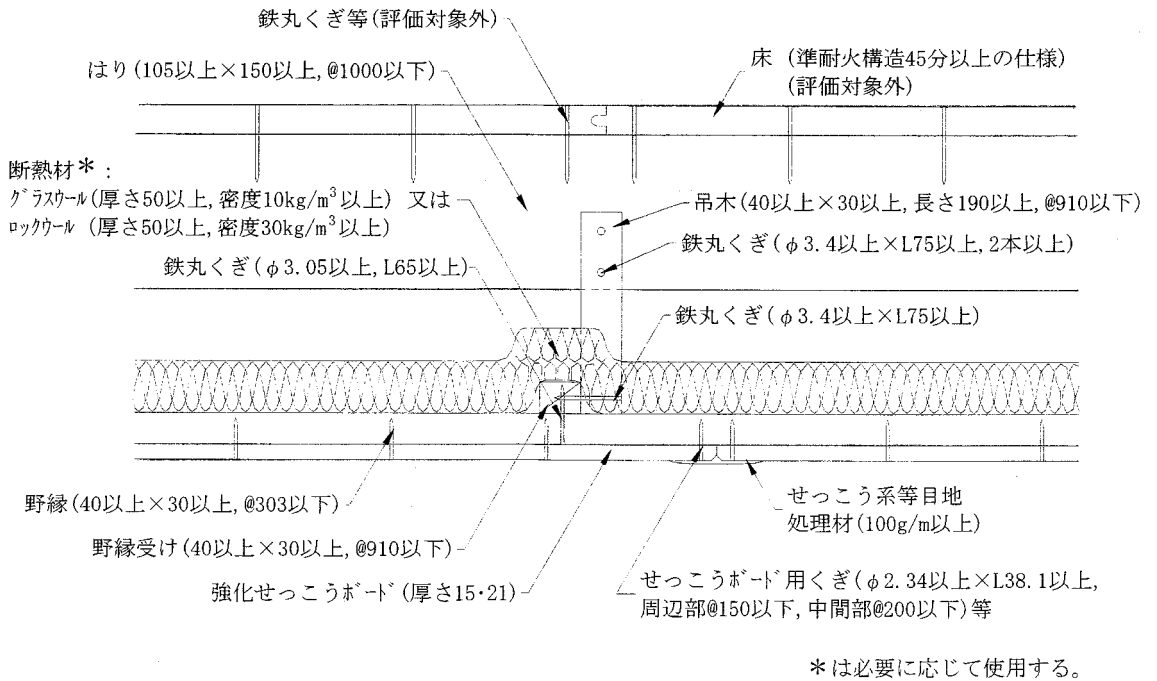
(3) 断面詳細図

(単位: mm)

①はり直交方向



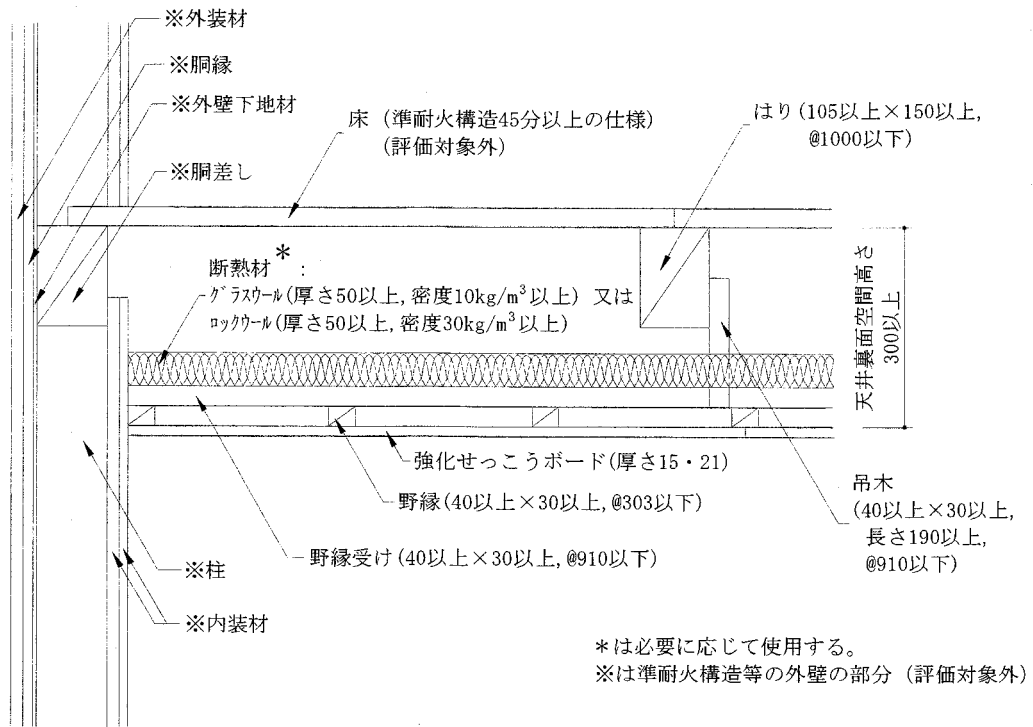
②はり並行方向



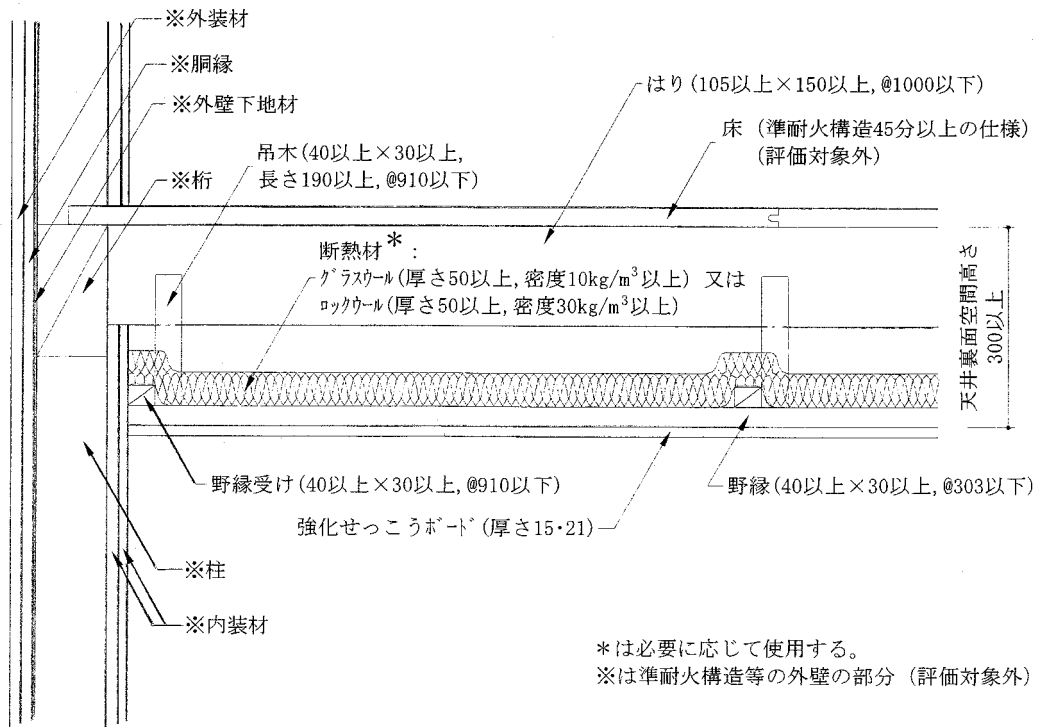
(4) 外壁との納まり (代表例)

(単位: mm)

① はり直交方向



② はり並行方向



5. 施工方法

(1) はりの取付け

はり(断面寸法 105 mm以上 × 150 mm以上)を 1,000 mm以下の間隔で配置し、大入れ蟻掛け、大入れ落とし込み、傾ぎ大入れ等の接合で桁に取り付ける。

(2) 天井下地材の取付け

吊木(断面寸法 40 mm以上 × 30 mm以上)をはり間方向に 910 mm以下の間隔で配置し、 ϕ 3.4 mm以上 × L75 mm以上の鉄丸くぎ(2本以上)ではりに取付ける。野縁受け(断面寸法 40 mm以上 × 30 mm以上)をはりと直交する方向に 910 mm以下の間隔で配置し、 ϕ 3.4 mm以上 × L75 mm以上の鉄丸くぎで吊木に取付ける。野縁(断面寸法 40 mm以上 × 30 mm以上)を野縁受けと直交する方向に 303 mm以下の間隔で配置し、 ϕ 3.05 mm以上 × L65 mm以上の鉄丸くぎで野縁受けに取付ける。

(3) グラスウール又はロックウール断熱材の敷き込み

必要に応じて、グラスウール又はロックウール断熱材を野縁受け及び野縁の上に隙間なく敷き込む。

(4) 天井被覆材の取付け

天井被覆材の強化せっこうボードを ϕ 2.34 mm以上 × L38.1 mm以上のせっこうボード用くぎ等で野縁に取付ける。せっこうボード用くぎ等は、周辺部を 150 mm以下の間隔で、中間部を 200 mm以下の間隔で留め付ける。目地部は、せっこうボード用目地処理材(100g/m 以上)にて平滑に仕上げる。